

◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が120例(男性60例(小学生1例, 10歳代2例, 20歳代21例, 30歳代6例, 40歳代12例, 50歳代10例, 60歳代6例, 70歳代1例, 80歳代1例), 女性59例(小学生1例, 10歳代11例, 20歳代20例, 30歳代8例, 40歳代6例, 50歳代4例, 60歳代3例, 70歳代4例, 80歳代2例), 未就学児1例(年齢性別非公開))あり, 累積報告数は574例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
 - 新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
 - 京都市衛生環境研究所にゆーす 令和2年度 第1号(通巻139号)(特集! 新型コロナウイルス感染症!)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf>
- ・ **腸管出血性大腸菌感染症**の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状は腹痛, 水様性下痢, 血便, 嘔吐で, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は9例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
 - 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(70歳代女性)あり, 症状は菌血症, 敗血症です。本年の累積報告数は17例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が2例(20歳代及び40歳代男性各1例)ありました。いずれも感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は37例となりました。
- ・ **咽頭結膜熱(プール熱)**の定点当たり報告数は, 京都市では0.14(6例)で第28週の0.02(1例)から3週連続して増加しています。全国では0.20で多少の増減はあるものの第22週ごろから増加傾向が続いています。しかしながら, 京都市及び全国のいずれも5年平均値を大きく下回っており, 現在のところ流行といえる状況ではありません。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は0.91(39例)となり, 前週0.67(29例)からやや増加しました。第27週(7月初旬)以降, 5年平均値とほぼ同じ推移となっています。

◆ 今週のトピックス: <突発性発しん>

今週の定点当たり報告数は京都市で0.35, 全国で0.53と過去5年平均値レベルで推移しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域[※], 感染経路[※]の順に掲載。)

- ・ 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 120例【1月以降の累積報告数 574例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- ・ 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 37例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

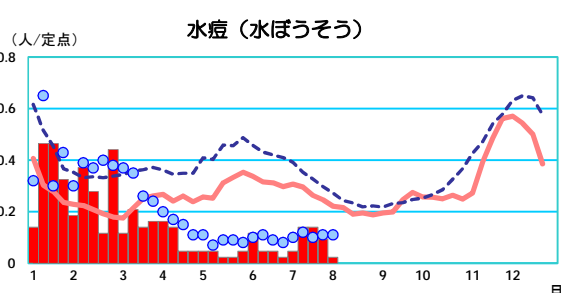
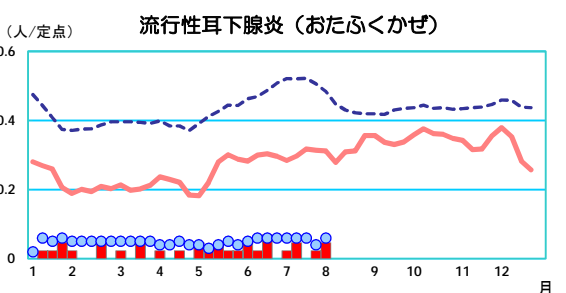
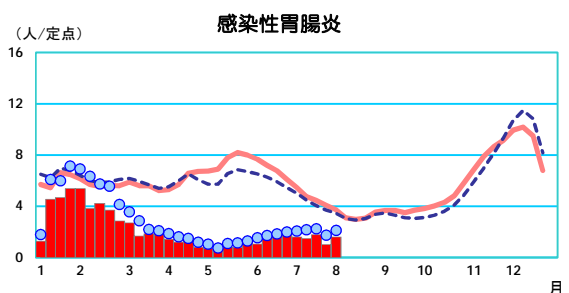
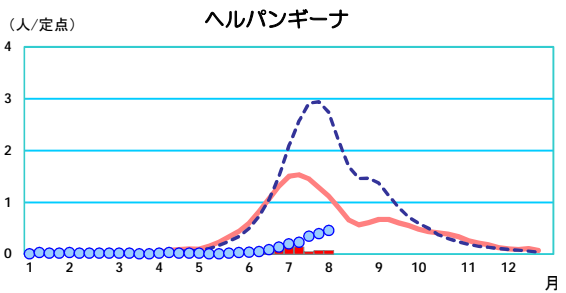
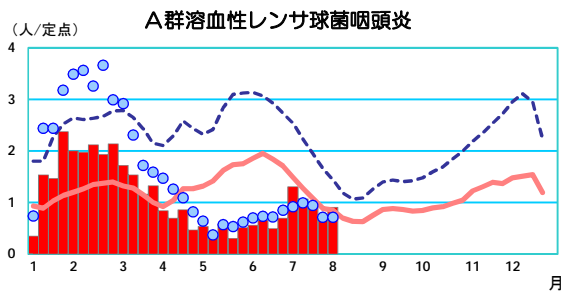
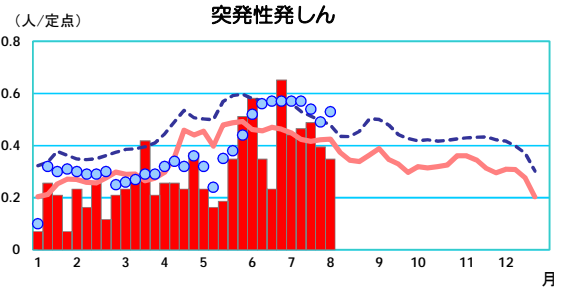
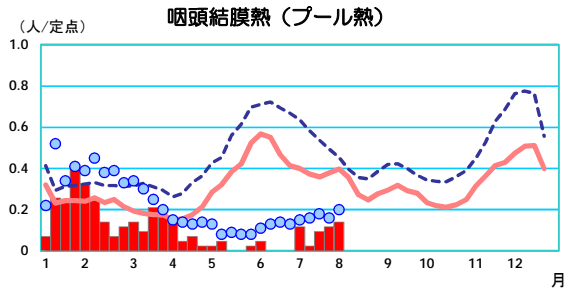
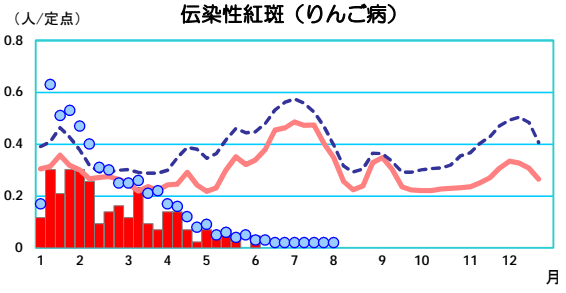
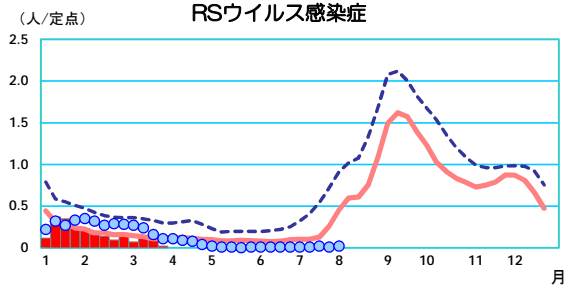
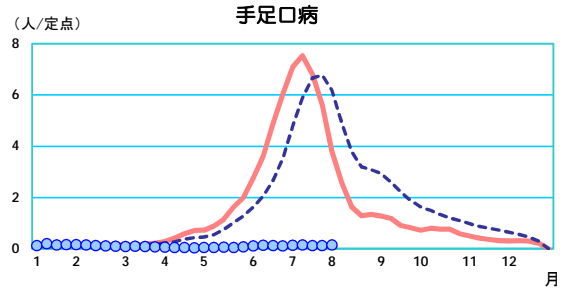
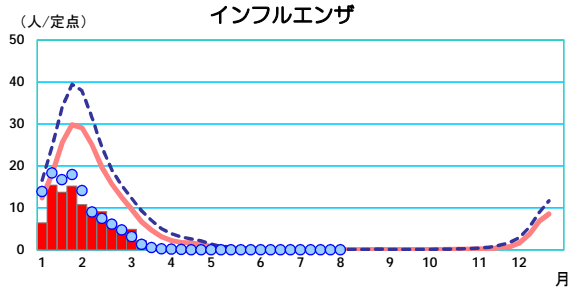
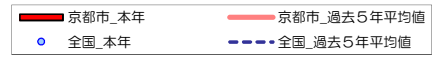
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ [*]	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.60	69
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	39
	③ 突発性発しん	0.35	15
	④ 咽頭結膜熱	0.14	6
	⑤ 手足口病	0.12	5
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

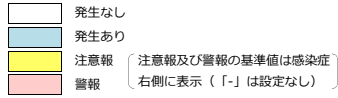
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <突発性発しん>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2020年8月5日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
[※] 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

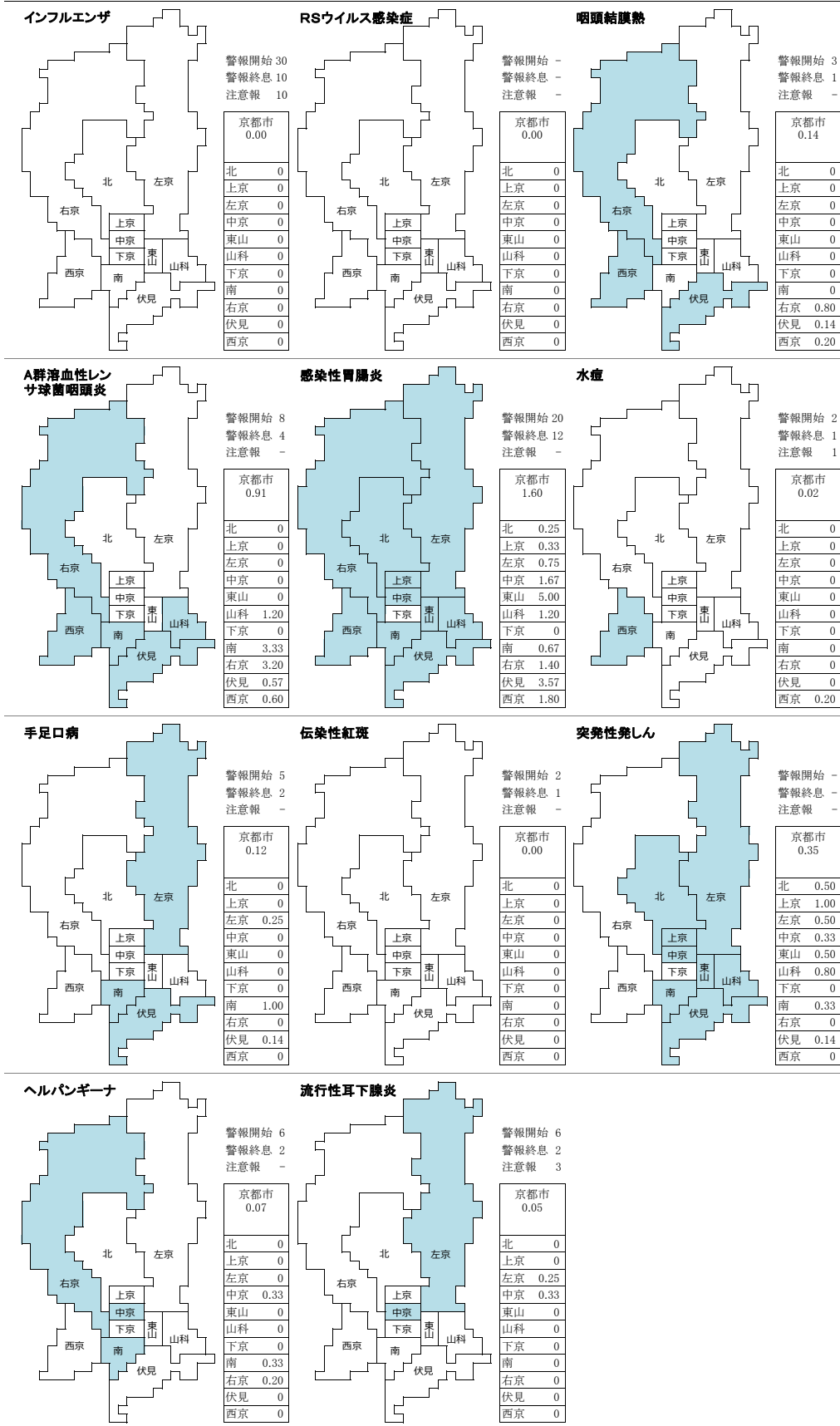
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第31週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。」



第31週(7月27日～8月2日)トピックス: <突発性発しん>

今週の定点当たり報告数は京都市で0.35, 全国で0.53と過去5年平均値レベルで推移しています(図1)。

突発性発しんは、感染症法に基づく5類感染症定点把握疾患です。乳児期に罹患することが多く、「小児ばら疹」との別名があります。突然の高熱と解熱後の発疹を特徴とするウイルス感染症で、予後は一般に良好です。

主な原因となるウイルスは、ヒトヘルペスウイルス6型(HHV-6)で、ヒトヘルペスウイルス7型(HHV-7)など別のウイルスが原因で発症することもあります。HHV-6はヒトの唾液中に存在しています。そのためほとんどの場合、母親など周囲の人の唾液を介して感染すると考えられています。HHV-6, HHV-7の血清疫学調査からは、2歳頃までにほとんどの小児が抗体陽性となり、不顕性感染は20～40%と報告されています。

年齢階級別定点当たり報告数の年推移でも、京都市、全国ともに2歳までが90%近くを占めていますが、2歳までの報告数の割合は年々減少しています(図2)。

突発性発しんは、毎週の定点当たり報告数がほぼ一定しています。本年の報告数も過去5年平均値レベルで推移していることから、定点医療機関での疾患捕捉率も例年通りと推測できます。一方、定点把握疾患の動向が例年と大きく異なり報告数が非常に少ない疾患(手足口病, RSウイルス感染症等)は、その発生が抑制されていると推測でき、コロナウイルス感染症が注目され、手洗い等の感染症対策がこれらの疾患にも有効に機能していることを示唆しています。

図1 本市及び全国の定点当たり報告数の推移

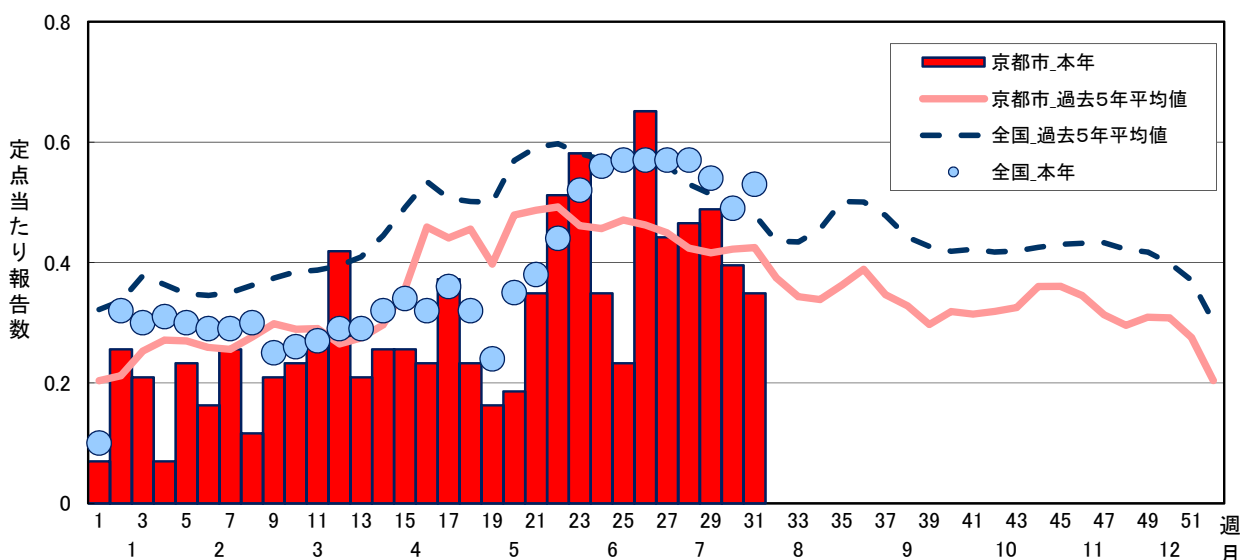
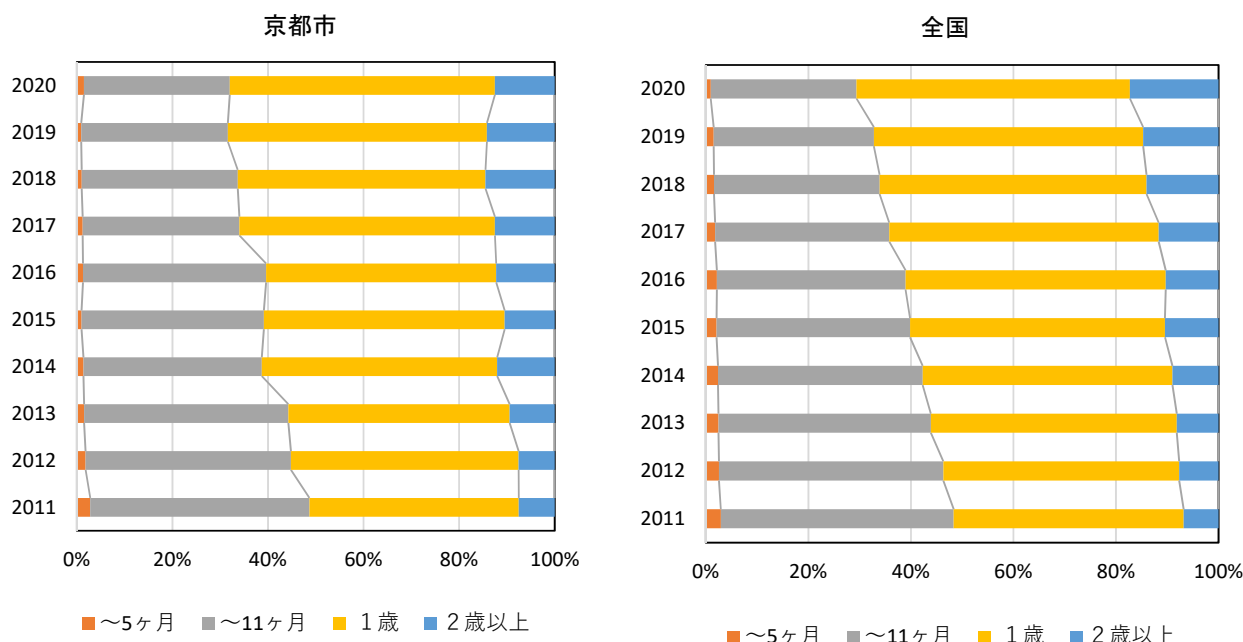


図2 年齢階級別定点当たり報告数の推移(2011年～2020年第31週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第31週

疾病,行政区別報告数

2020年7月27日～2020年8月2日

データ入手日:2020年8月5日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1					
左京	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	1	-	-					
中京	-	-	-	-	5	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-							
山科	-	-	-	6	6	-	-	-	4	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	10	2	-	3	-	1	1	-							
右京	-	-	4	16	7	-	-	-	-	1	-	-	3					
伏見	-	-	1	4	25	-	1	-	1	-	-	-	-					
西京	-	-	1	3	9	1	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	-	6	39	69	1	5	-	15	3	2	-	4	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.25	-	-	-	0.50	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	1.00	-	-	-	1.00					
左京	-	-	-	-	0.75	-	0.25	-	0.50	-	0.25	-	-					
中京	-	-	-	-	1.67	-	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5.00	-	-	-	0.50	-	-							
山科	-	-	-	1.20	1.20	-	-	-	0.80	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	3.33	0.67	-	1.00	-	0.33	0.33	-							
右京	-	-	0.80	3.20	1.40	-	-	-	-	0.20	-	-	3.00					
伏見	-	-	0.14	0.57	3.57	-	0.14	-	0.14	-	-	-	-					
西京	-	-	0.20	0.60	1.80	0.20	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	-	0.14	0.91	1.60	0.02	0.12	-	0.35	0.07	0.05	-	0.40	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第31週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年7月27日～2020年8月2日

データ入手日:2020年8月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		6	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		39	1	1	6	5	1	2	4	-	2	-	5	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		69	2	4	10	6	3	9	4	2	4	4	3	5	4	9	-	-	-	-	-	-	-
水痘		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		5	-	-	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	2	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.14	-	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.91	0.02	0.02	0.14	0.12	0.02	0.05	0.09	-	0.05	-	0.12	0.21	0.07	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.60	0.05	0.09	0.23	0.14	0.07	0.21	0.09	0.05	0.09	0.09	0.07	0.12	0.09	0.21	-	-	-	-	-	-
水痘		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.12	-	-	0.07	-	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.35	-	0.05	0.21	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	-	0.10	0.10	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第31週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年8月5日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	5	1	4	5	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		30	56	46	41	29	39
感染性胃腸炎		94	69	64	76	43	69
水痘		1	2	6	6	4	1
手足口病		2	6	2	1	4	5
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-
突発性発しん		28	19	20	21	17	15
ヘルパンギーナ		5	7	6	2	3	3
流行性耳下腺炎		-	1	2	-	1	2
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		5	-	3	-	1	4
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		165	165	150	151	107	144

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症		-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	0.12	0.02	0.09	0.12	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	1.30	1.07	0.95	0.67	0.91
感染性胃腸炎		2.19	1.60	1.49	1.77	1.00	1.60
水痘		0.02	0.05	0.14	0.14	0.09	0.02
手足口病		0.05	0.14	0.05	0.02	0.09	0.12
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.65	0.44	0.47	0.49	0.40	0.35
ヘルパンギーナ		0.12	0.16	0.14	0.05	0.07	0.07
流行性耳下腺炎		-	0.02	0.05	-	0.02	0.05
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.50	-	0.30	-	0.10	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		4.22	3.84	3.72	3.51	2.57	3.66

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。